

背景文字/『惠露草』谷川土清筆 江戸時代 館蔵 【三重県指定文化財】

川喜田半泥子は昭和5 年(1930)、川喜田家伝 来の書籍約2万冊と、川 喜田家文書、絵画・工芸 品など多くの歴史資料・ 美術品を収蔵するため、 ここ千歳山に洋館の蔵を 建設します。今も当館の 収蔵庫として活用され る、千歳文庫の誕生です。

本展では、千歳文庫創 設90周年を記念し、半泥 子が気に入った作品の伝 来や入手の経緯を認めた 『文庫珍宝記』を手掛かり



② 新発見!!最古の藤堂高虎伝!





3



5

として、書画・書籍・古文書・考古遺物・茶道具な ど、千歳文庫の多彩で魅力的なコレクションの 数々をご紹介します。また、最近の調査で新たに 発見された資料も併せてご覧いただきます。

- 1. 千歳文庫 昭和5年(1930)【登録有形文化財】
- 2.『藤堂家由来書』 西嶋八兵衛ほか7名連署 寛永18年(1638)
- 3. 青面金剛像(大津絵) 作者不詳 江戸時代
- 4. 瓦経(伊勢小町塚経塚出土) 平安時代
- 5.『絵本水也空』 耳鳥斎画 安永9年(1780)刊
- 6. 豊臣秀吉書状 自筆 桃山時代 【重要美術品】
- 7. 開成丸調練帰帆図(反古帖) 三浦乾也画 安政5年(1858)刊
- 8. 四方草花文鲍目皿 尾形乾山 江戸時代
- ※すべて館蔵





7





同時開催 (第2展示室) 所蔵品展

《川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品》

|ギ|ャ|ラ|リ|-|ト|-|ク| 担当学芸員が展覧会をご案内します。

日時:12月25日(金)、1月16日(土)、2月7日(日) 各日14時より30分程度

- ※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。
- ※参加費は無料ですが、当日の入館料が必要です。
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、チラシ掲載内容に変更が生じる場合がございます。 当館ホームページまたは電話にて、最新の情報をご確認ください。
- ※ご来館、ご来場の際は、感染症予防対策にご協力ください。

次回展覧会

企画展「天神さまと梅 一紅梅閣建立90周年記念一 会期: 令和3年2月13日(土)~4月11日(日)

展示替休館

令和3年2月8日(月)~12日(金)



交通アクセス

- ●JR·近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、 「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、 「青谷口」下車徒歩約8分
- ●JR阿漕駅より徒歩約12分
- ●お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。 7月の階切を越え、約200m 先岩田池手前の細い道(角に看板あり)を 左折、約300m 先左側。(駐車場 15 台)

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18 [TEL] 059-227-5677 [FAX] 059-213-5789 http://www.sekisui-museum.or.jp/

企画展 千歳文庫創設90周年記念

千歳文庫と川喜田半泥子

令和2年12月12日~令和3年2月7日

出品目録

No.	作品名	作者・筆者など	年代	形質-員数	備考
1	赤楽茶碗 銘 松韻	伝 本阿弥光悦	江戸時代	陶器・一口	『珍』
2	 井戸茶碗 銘 紅葉山 	伝 武野紹鴎所持	朝鮮王朝時代(16世紀)	陶器・一口	『珍』
3	祇園祭礼図	伝 長谷川久蔵筆	桃山時代	紙本着色・一幅	
4	蕎麦茶碗	伝 久保権太夫(長 闇堂)所持	朝鮮王朝時代(16世紀)	陶器・一口	『珍』
5	津田宗及書状	清雲院(勧修寺晴 豊)宛 自筆	桃山時代	紙本墨書・一幅	『珍』
6	尼焼黒茶碗 銘 玉椿	伝 千利休箱書	桃山時代	陶器・一口	『珍』
O 7	豊臣秀吉書状	自筆	桃山時代	紙本墨書・一幅	
8	大津絵 青面金剛像	作者不詳	江戸時代	紙本着色・一幅	★『珍』
9	お竹大日錦絵集	歌川国芳・歌川国貞 ほか画	江戸時代	紙本多色刷・一帖	*
10	『書簡集』	四代鳩居堂ほか筆	江戸時代	—⊞	*
11	川喜田遠里・政寛像	浄全筆	明治2年(1869)	紙本着色・一幅	
12	『文庫珍宝記』	川喜田半泥子筆	昭和15年(1940)	− 冊	*
13	 『卯年随筆』 	川喜田半泥子筆	昭和14年(1939)	− ⊞	*
14	『藤堂家由来書』	西嶋八兵衛ほか7名 連署	寛永18年(1638)	紙本墨書・一巻	*
15	竹一重切花入 銘 音曲	伝 千利休	桃山時代	竹製・一口	『珍』
16	千利休書状	伝 千利休筆	桃山時代	紙本墨書・一幅	『珍』
O 17	『万葉集疑問』	芝原春房自筆問・本 居宣長自筆答	江戸時代	二冊のうち	『珍』
◎ 18	『恵露草』	谷川士清筆	江戸時代	—⊞	『珍』
19	『荒木田久老自筆雑纂』	荒木田久老筆	享和元年(1801)	紙本墨書・一冊	★『珍』
◎ 20	阿弥陀如来立像	鶴岡八幡宮伝来	文永元年(1264)	銅造・一躯	『珍』
21	足利義詮御判御教書(『射 和文書』巻四のうち)	足利義詮署判	康安元年(1361)	紙本墨書・一通	*

No.	作品名	作者・筆者など	年代	形質•員数	備考
22	関東御教書(『射和文書』 巻四のうち)	北条業時・北条貞時 署判	弘安9年(1286)	紙本墨書・一通	*
23	杉木普斎像	筆者不詳	天保10年(1839)	紙本墨書・一枚	*
24	『普斎先生小伝』	筆者不詳	天保10年(1839) 頃 写	− ⊞	*
25	『御成敗式目』	北条泰時ら編	室町時代 写	− 冊	★『珍』
26	『本朝百将伝』	林道春(羅山)編	明暦2年(1656)刊	二巻二冊	★『珍』
27	『福神絵本 ねずみのふるまい』	作者不詳	弘化3年(1846)刊	紙本木版・一冊	★『珍』
28	四方草花文鉋目皿	尾形乾山	江戸時代	陶器・五客	『珍』
29	古伊賀水指(伊賀上野城出土)	作者不詳	桃山時代	陶器・一口	『珍』
30	開成丸調練帰帆図(反古 帖)	三浦乾也画	安政5年(1858)	紙本多色刷	★『珍』
31	瓦経(伊勢小町塚経塚出 土)	作者不詳	平安時代	陶製・二枚	*
32	花卉図屏風	青木夙夜筆	江戸時代	紙本着色・二曲一隻	『珍』
33	文人書画・書簡貼交屏風	足代弘訓ほか筆	江戸時代	紙本墨書・六曲一隻	*
34	『絵本水や空』	耳鳥斎画	安永9年(1780)刊	二巻二冊のうち	★『珍』
35	『翠釜亭戯画譜』	翠釜亭画	天明2年(1782)刊	− 冊	★『珍』
36	男之助羽子板図	川喜田半泥子筆	昭和4年(1929)	絹本着色・一幅	
37	『茶湯秘抄』	土門元亮編	江戸時代 写	五巻五冊のうち	『珍』
38	林栄子書簡	川喜田久太夫(半泥 子)宛	昭和13年(1938)	紙本ペン字・便箋二枚	*
39	黄色い肘掛け椅子の女	アンリ・マティス	1920年	油彩・カンバス・額装	『珍』
40	聖母とイエス	伝 レンブラント	年代不明	油彩・カンバス・額装	★『珍』

初出品は★

『珍』は『文庫珍宝記』 (No.12) 所載の作品

No.20 (個人蔵) 以外はすべて館蔵

所蔵品展

川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品

令和2年12月12日~令和3年2月7日

出品目録

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	井戸手茶碗 銘 寿山	川喜田半泥子	昭和16年頃・千歳山窯	
2	井戸手茶碗 銘 はしら暦	 川喜田半泥子 	昭和10年代・千歳山窯	
3	井戸手茶碗 銘 鳳	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	寄託作品
4	粉引茶碗 銘 雪の曙	 川喜田半泥子 	昭和10年代・千歳山窯	
5	白掛茶碗 銘 白蔵主	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
6	高麗手茶碗 銘 雅茶子	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
7	鼠志野茶碗 銘 一トめぐり	川喜田半泥子	昭和22~25年頃・廣永窯	
8	志野茶碗 銘 あつ氷	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
9	織部黒茶碗 銘 暗香	 川喜田半泥子 	昭和10年代・千歳山窯	藤田コ
10	黒茶碗 銘 無茶太郎	川喜田半泥子	昭和15年頃・千歳山窯	
11	赤楽大茶碗 銘 閑く恋慕	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
12	枯木に鳥図	川喜田半泥子筆・自賛	昭和10年代・紙本墨画	
13	カトレア図	川喜田半泥子筆・ 梶島一藻賛	昭和15年・絹本着色	
14	はんど瓶図	川喜田半泥子筆・ 梶島一藻賛	昭和15年・紙本墨画淡彩	
15	書「不苦者有智」(福は内)	川喜田半泥子筆・自賛	昭和30年・紙本墨書	寄贈作品
16	伊賀水指 銘 慾袋	川喜田半泥子	昭和15年・千歳山窯	
17	つぶれ壺 銘 ふくら雀	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
18	呼継茶碗 銘 ねこなんちゅ	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
19	黒筒茶碗	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
20	白筒茶碗 銘 白瓜	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	寄託作品
21	灰釉茶碗 銘 これはしたり	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	寄託作品

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
22	片身替茶碗 銘 寝物語	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
23	灰釉茶碗 銘 ぼたもち	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	寄託作品
24	灰釉茶碗 銘 寒鴉	川喜田半泥子	昭和15年頃・千歳山窯	
25	割高台茶碗 銘 浮寝鳥	川喜田半泥子	昭和24年・廣永窯	
26	焼締茶碗 銘 福ハ内	川喜田半泥子	昭和23年・廣永窯	藤田コ
27	唐津手茶碗 銘 福わらひ	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
28	粉引手茶入 銘 伊勢みやげ	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	藤田コ
29	竹茶杓 銘 冬ごもり	川喜田半泥子	竹	
30	赤玉香合	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	寄託作品
31	志野宝珠香合	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	藤田コ
32	灰釉四方台鉢	川喜田半泥子	昭和26年頃・廣永窯	
33	赤絵高杯	川喜田半泥子	昭和12年頃・千歳山窯	
34	粉引手徳利	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
35	焼締徳利	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	寄贈作品
36	灰釉徳利	川喜田半泥子	昭和25年・廣永窯	
37	赤絵竹文徳利	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
38	ぐい呑 10口	川喜田半泥子	千歳山窯・廣永窯	
39	書「至誠」	川喜田半泥子筆	大正〜昭和初期・紙本墨書	
40	書「波和遊」(How are you?)	川喜田半泥子筆	昭和35年頃・紙本墨書	
41	書「喚阿巌」(Come again.)	川喜田半泥子筆	昭和35年頃・紙本墨書	藤田コ
42	書「仙鶴芾頼」(千客万来)	川喜田半泥子筆	昭和20年頃代・紙本墨書	寄贈作品

茶席

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
43	松竹梅図	川喜田半泥子筆	紙本墨画淡彩・昭和10年代	藤田コ
44	旅枕花入	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
45	灰釉縮れ砂金袋水指 銘 若水	川喜田半泥子	昭和24年・廣永窯	

[※]展示作品、展示期間が変更になる場合があります。

[※]備考欄の「藤田コ」は、藤田等風コレクション(平成23年寄贈)。